

令和4年度

決算報告書

静岡県田方郡函南町

令和4年度函南町一般会計、各特別会計の決算の概要について次のとおり報告いたします。

なお、詳細については、別添の令和4年度主要な施策の成果と予算執行状況報告書によります。

令和5年9月14日

函南町長 仁科 喜世志

令和4年度函南町一般会計歳入歳出決算について

決算の概要

(1) 歳入

令和4年度の歳入総額は、前年度と比較して、538,276,827円（3.7%）減の14,063,901,203円となりました。

予算額に対する収入率は、前年度と比較して0.1ポイント増の100.8%となりました。

歳入の根幹となる町税は、前年度と比較して徴収率が0.8ポイント増の94.9%となり、収入済額は2.0%増の5,295,315,289円となりました。

自主財源は、分担金及び負担金が減額したものの、繰入金、繰越金、町税等の増額により、前年度と比較して9.1%増の7,228,662,477円となり、歳入に占める割合は、6.0ポイント増の51.4%となりました。

依存財源は、地方消費税交付金、地方交付税等が増額したものの、地方特例交付金、国庫支出金、町債等の減額により、前年度と比較して14.3%減の6,835,238,726円となり、歳入に占める割合は、6.0ポイント減の48.6%となりました。

(2) 歳出

令和4年度の歳出総額は、前年度と比較して、579,646,202円（4.2%）減の13,350,822,708円となりました。

減額の主な要因として、令和3年度に実施した子育て世帯臨時特別給付金事務事業費の皆減、基金への積立金の減額により、歳出総額が減額となりました。

予算額に対する執行率は、前年度と比較して0.3ポイント減の95.7%となりました。

令和4年度は、第六次函南町総合計画の後期基本計画の初年度にあたり、前期の実績と反省を生かし、主要事業の着実な推進に努める重要な年となりました。長引くコロナ禍をはじめ、不安定な国際情勢、物価の高騰など、先行きを見通すことが困難な状況に見舞われましたが、第六次函南町総合計画の将来都市像「環境・健康・交流都市函南」の実現に向け、町民1人ひとりが主役で、希望と元気のあるまちづくりを目指し、各分野において行政効果が最大限に発揮されるよう、「環境・防災」をはじめとする6つの基本政策のもとに様々な施策を展開いたしました。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、町民の皆様とともに明るい未来に向けて歩いていけるまちづくりに取り

組んでまいりましたので、主要施策と併せて報告いたします。

まず、「快適に安心して暮らせる環境づくり」に向けた主な取り組みとして

「地球環境の保全」では、町の自然的、社会的条件を考慮し、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に進めていくための基本的事項を定めた環境基本計画を策定し、「持続可能なまちの実現」を目指した取り組みへの指針を示しました。

また、「自然環境の保全と共生」では、安全・安心な住環境等の維持に危険を及ぼす恐れのある土採取現場等の測量を行うとともに、条例違反等の疑いがある盛土現場の測量や監視のための備品の購入、中山間地の盛土パトロールの継続実施により、新たな違反盛土現場の発生抑止に効果を上げました。

さらに、「消防・救急体制の充実」では、老朽化した消防団第2分団のポンプ車両を更新し、火災等の緊急出動時における消防団活動を円滑に実施する体制の構築、安全性の向上に繋げました。

次に、「コンパクトで効率的な都市づくり」に向けた主な取り組みとして

「道路交通網の整備」では、町道の改良、舗装工事及び橋梁等の補修工事の実施により、町民の身近な生活道路である町道の改良等を図り、利便性や歩行者の安全性を確保するとともに、安心・安全な道路を維持するため、橋梁等の点検業務及び道路パトロール業務を委託し、異常個所の早期発見、早期改善を図りました。

また、「地域公共交通網の形成」では、公共交通の利用ニーズの新規拡大と利便性の向上を図るため、町内循環バスの実証運行を実施し、公共交通で交流拠点を結び、日常生活の利用に加えて観光利用の促進に繋がるよう努めました。

さらに、「都市経営」では、更なる空家対策の推進のため空家等対策計画を改正し、今後の空家の発生抑制や解消に繋げるとともに、防災指針を盛り込んだ立地適正化計画の改定に向けた基礎調査を実施し、頻発・激甚化する自然災害への対応を図りました。

次に、「誰もが生き生きと暮らせる健康づくり」に向けた主な取り組みとして

「健康づくりの推進」では、保健指導や各種教室をオンライン配信することができる体制を整備し、コロナ禍においても安心して参加できる環境づくりを実現させ、町民のこころとからだの健康の維持・増進に寄与することができました。

また、「地域医療体制の充実」では、訪問歯科診療用ポータブルユニットを購入し、災害時に救護所・避難所にて治療ができる体制の確保に努めました。

さらに、「地域福祉の推進」では、県下に先駆けて重層的支援体制整備事業を開始し、従来の支援体制では対応が困難であった地域住民が抱える複雑化・複合化した課題に対応することができる包括的な相談支援体制を構築しました。

次に、「生涯にわたる学びを支える教育・文化づくり」に向けた主な取り組みとして

「幼児教育の充実」では、旧みのり幼稚園跡地に新たな私立保育所を誘致し、整備に係る財政支援をすることで待機児童解消対策を図り、安心して子育てができる環境の整備に努めました。

また、「義務教育の充実、教育環境の整備」では、小・中学生の語学力向上と国際感覚を養うため、外国人語学指導助手（ALT）を活用し英語力の向上に努めるとともに、ICT支援員の配置により、GIGAスクール構想に基づくICT教育推進のための体制整備を図りました。

さらに、「スポーツ・レクリエーションの推進」では、柏谷公園野球場の夜間照明設備のLED化工事を実施し、照度の改善と電気料金の削減を実現させたほか、搬入口等の整備を行い利用者の環境改善を図ることで、町内体育施設の利用促進に繋げることができました。

次に、「活力とゆとりを生み出す産業づくり」に向けた主な取り組みとして

「農業振興」では、適正な農地保全、農作物の品質向上、環境保全型農業等に対する助成を継続し、農業の活性化を図るとともに、就農初期段階の青年就農者に対する支援や農業用機械の導入に対する支援を行い、農業の担い手育成などに努めました。

また、「商業振興」では、函南ブランド認定品を紹介するパンフレット等を町内施設や観光施設等に配架することで地域資源のPRに努めたほか、ふるさと納税ポータルサイトを追加したことなどから、寄附申込件数及び寄附額の増加に繋げることができました。

さらに、「観光振興」では、道の駅・川の駅伊豆ゲートウェイ函南を拠点とした観光振興イベント「かなみフェス」を開催し、町内にある観光資源を来場者に広くPRし、町の新たな魅力を発信しました。

次に、「魅力とにぎわいのある交流づくり」に向けた主な取り組みとして

「情報化の推進」では、戸籍システムのクラウド化への移行を行い、戸籍情報の保全性を強化するとともに、戸籍全部事項証明書等のコンビニ交付サービスが可能となり、利用者の利便性の向上を図ることができました。

また、「移住・定住の促進」では、オンライン相談の開始や移住促進動画の作成、発信を行うことで、移住希望者が自宅で気軽に町の情報を得ることができる環境の整備を図りました。

さらに、「効果的・効率的な行財政運営の推進」では、職員の定年退職の引上げや役職定年制、再任用制度の見直し等を見据えて、各部署の職員数や業務量の調査・分析・検討を実施しました。

次に、新型コロナウイルス感染症対策を目的に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下「コロナ交付金」）を活用した事業として、感染防止対策を目的とした事業を12事業、事業者支援・地域経済活性化を目的とした事業を12事業、リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速を目的とした事業を6事業、計30事業を実施し、町内の感染防止、地域経済の支援、そして新たな生活様式に向けた取り組みをしてまいりました。

この他の各費目別の事業については、主要な施策の成果と予算執行状況報告書に記載したとおりであります。

次に、主な目的別経費の決算状況は、民生費が前年度と比較して 5.1%減の 5,013,994千円となり、教育費が 7.3%増の 1,734,822千円となりました。構成比では、民生費が前年度と比較して 0.3ポイント減の37.6%で全体に占める割合が最も多く、次いで、総務費が 1.6ポイント減の 14.6%、教育費が 1.4ポイント増の 13.0%、衛生費が0.7ポイント増の 11.3%の順となりました。

次に、主な性質別経費の決算状況のうち、経常的経費は前年度と比較して 0.5%増の 10,329,317千円、投資的経費は 7.1%減の 961,514千円となりました。構成比では前年度と比較して、経常的経費は 3.6ポイント増の 77.4%、投資的経費は 0.2ポイント減の 7.2%であり、その他経費は 3.4ポイント減の 15.4%となりました。

経常的経費のうち扶助費は、対象者の増加に伴う障害児通所給付費等の増額があったものの、令和3年度に実施した子育て世帯臨時特別給付金給付事務事業費の皆減により、前年度と比較して 12.7%減の 2,819,569千円となりました。

物件費は、コロナ交付金の活用事業における備品購入費、委託料等の増額のほか、燃料費及び光熱水費の高騰により、前年度と比較して 12.9%増の2,518,932千円となりました。

補助費等は、コロナ交付金の活用事業におけるかなみプレミアム商品券販売事業、医療機関や農業者等への価格高騰対策支援金交付事業費の皆増により、前年度と比較して 11.3%増の1,727,555千円となりました。

投資的経費における普通建設事業費のうち補助事業は、民間保育所の新設に伴う保育所等整備交付金の皆増により、前年度と比較して 53.8%増の239,073千円、単独事業は、西小学校の用地買収に伴う土地購入費の皆増があったものの、令和3年度に実施した消防団詰所建替え工事、同報無線デジタル化工事に係る事業費の皆減により、17.5%減の 688,908千円となりました。

その他経費のうち、積立金は、財政調整基金、特定目的基金への新規積立の減額により、41.4%減の 844,507千円となりました。

(3) 財政構造

令和4年度の歳入歳出差引額は、713,078千円となり、これから翌年度へ繰越すべき財源14,806千円を差し引いた実質収支は、698,272千円となりました。

さらに、本年度の実質収支から前年度の実質収支 668,540千円を差し引いた単年度収支は 29,732千円の黒字、また、単年度収支に、財政調整基金への積立金 634,544千円を加え、同基金からの取崩額 539,680千円を差し引いた実質単年度収支は 124,596千円の黒字となりました。

経常収支比率は、歳出の人件費、扶助費、物件費等の増額があったものの、歳入の臨時財政対策債や地方特例交付金が大きく減額したことにより、前年度と比較して6.6ポイント増の 89.3%となりました。

令和4年度函南町土地取得特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和4年度函南町土地取得特別会計の決算額は、歳入歳出ともに前年度から4.9%増の20,711,730円となりました。

予算額に対して、歳入の収入率、歳出の執行率ともに99.9%となりました。

歳入の不動産売払収入は、前年度から354,420円増の20,020,000円となり、基金財産使用料は、前年度から604,560円増の691,730円となりました。

また、歳出の基金費は、一般会計に売払った道の駅整備用地の一部と貸し付けた函南小学校用地の使用料を基金に積み立て、前年度から4.9%増の20,711,730円となりました。

令和4年度函南町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和4年度函南町国民健康保険特別会計の決算額は、歳入が前年度比1.0%増の4,143,210,912円、歳出が前年度比0.2%減の4,042,414,984円となり、歳入歳出差引額は100,795,928円となりました。

予算額に対して、歳入は収入率101.0%で40,026,912円の増額となり、歳出は執行率98.5%で60,769,016円の不用額となりました。

歳入のうち、国民健康保険税は前年度比4.6%減の844,755,953円となり、県支出金は前年度比0.2%減の2,871,680,457円となりました。また歳出のうち、保険給付費は前年度比0.3%減の2,799,409,206円となりました。

令和4年度函南町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和4年度函南町後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入が前年度比8.5%増の551,911,533円、歳出が前年度比8.5%増の551,697,433円となり、歳入歳出差引額は214,100円となりました。

予算額に対して、歳入は収入率98.0%で11,113,467円の減額となり、歳出は執行率98.0%で11,327,567円の不用額となりました。

歳入のうち、後期高齢者医療保険料は前年度比9.3%増の459,740,400円となりました。また歳出のうち、静岡県後期高齢者医療広域連合への納付金は前年度比8.5%増の551,238,733円となりました。

令和4年度函南町介護保険特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和4年度函南町介護保険特別会計の決算額は、歳入が前年度比 1.1%減の 3,196,057,277円、歳出が前年度比 4.3%減の 3,034,173,029円となり、歳入歳出差引額は、161,884,248円となりました。

予算額に対して、歳入は収入率 95.9%で 135,009,723円の減額となり、歳出は執行率 91.1%で 296,893,971円の不用額となりました。

歳入のうち、介護保険料は前年度比 0.1%減の 715,945,536円となりました。また歳出のうち保険給付費は前年度比 2.0%減の 2,834,601,578円となりました。

令和4年度函南町平井財産区特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和4年度函南町平井財産区特別会計の決算額は、歳入歳出ともに前年度比 0.2%減の 1,151,776円となりました。

予算額に対して、歳入は 3,224円の減額、歳出は 3,224円の不用額で、収入率・執行率ともに 99.7%となりました。

歳入のうち、基金繰入金は前年度比 0.2%減の 1,104,200円となりました。また歳出のうち、一般会計への繰出金は前年度と同額の 1,000,000円となりました。

令和4年度函南町上沢財産区特別会計歳入歳出決算について

決算の概要

令和4年度函南町上沢財産区特別会計の決算額は、歳入歳出ともに前年度と同額の189円となりました。

予算額に対して、歳入は 811円の減額、歳出は 811円の不用額で、収入率・執行率ともに 18.9%となりました。

歳入は、財産運用収入が前年度と同額の 189円、歳出は、基金積立金が前年度と同額の 189円となりました。

令和4年度函南町下水道事業特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 912,389,613円 支出 897,555,679円 差引 14,833,934円

資本的収入及び支出

収入 322,593,200円 支出 585,823,374円 差引 △263,230,174円

決算の概要

令和4年度の損益計算書により、総収益は、前年度比4.7%減の864,790,123円、総費用は、前年度比1.1%増の868,267,118円で、当年度純損失3,476,995円となりました。

収益では、下水道使用料が305,127,057円で総収益の35.3%、一般会計繰入金である他会計負担金は330,909,000円で38.3%、その他の収益が228,754,066円で26.4%の構成となりました。

費用では、流域下水道費が232,613,637円で26.8%、総係費が33,657,870円で3.9%、減価償却費が494,166,828円で56.9%、支払利息及び企業債取扱諸費が52,201,477円で6.0%、その他の費用が55,627,306円で6.4%の構成となりました。

資本的支出は、未普及対策、防災安全事業の整備及び企業債元金償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額263,230,174円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和4年度函南町農業集落排水事業特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 12,829,955円 支出 11,941,984円 差引 887,971円

資本的収入及び支出

収入 2,243,800円 支出 3,711,097円 差引 △1,467,297円

決算の概要

令和4年度の損益計算書により、総収益は、前年度比2.7%増の12,464,508円、総費用は、前年度比4.8%減の11,571,647円で、当年度純利益892,861円となりました。

収益では、農業集落排水使用料が1,134,100円で総収益の9.1%、一般会計繰入金である他会計負担金は5,770,000円で46.3%、その他の収益が5,560,408円で44.6%の構成となりました。

費用では、ポンプ場費が3,583,996円で31.0%、減価償却費が7,327,673円で63.3%、支払利息及び企業債取扱諸費が420,061円で3.6%、その他の費用が239,917円で2.1%の構成となりました。

資本的支出は企業債償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額1,467,297円は、当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和4年度函南町上水道事業特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 610,625,392円 支出 509,198,083円 差引 101,427,309円

資本的収入及び支出

収入 185,300,000円 支出 463,010,471円 差引 △277,710,471円

決算の概要

令和4年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 1.7%減の 546,812,932円、総費用は、前年度比 0.6%減の 484,151,656円で、当年度純利益 62,661,276円となりました。

収益では、給水収益が 469,666,569円で総収益の 85.9%を占め、水道加入金が 11,036,389円で 2.0%、その他の収益が 66,109,974円で 12.1%の構成となりました。

費用では、原水浄水及び配水給水費が 215,238,540円で 44.4%、減価償却費及び資産減耗費が 165,564,460円で 34.2%、支払利息及び企業債取扱諸費が 5,797,787円で 1.2%、その他の費用が 97,550,869円で 20.2%の構成となりました。

資本的支出は、老朽管布設替工事、第1浄水場更新工事及び各浄水場施設整備等に係るもので、資本的収入に対して不足する額 277,710,471円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金、減債積立金及び建設改良積立金で補てんしました。

令和4年度函南町畑、丹那簡易水道特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 7,697,645円 支出 4,152,952円 差引 3,544,693円

資本的収入及び支出

収入 0円 支出 571,933円 差引 △571,933円

決算の概要

令和4年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 4.0%減の 7,502,537円、総費用は、前年度比 28.1%減の 3,961,944円で、当年度純利益 3,540,593円となりました。

収益では、給水収益が 5,787,770円で総収益の 77.2%を占め、その他の収益が 1,714,767円で 22.8%の構成となりました。

費用では、原水浄水及び配水給水費が 2,003,226円で 50.6%、減価償却費が 1,313,080円で 33.1%、支払利息及び企業債取扱諸費が 21,856円、その他の費用が 623,782円で 16.3%の構成となりました。

資本的支出は、企業債償還金等に係るもので、資本的収入に対して不足する額 571,933円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和4年度函南町田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 22,032,300円 支出 24,052,484円 差引 △2,020,184円

資本的収入及び支出

収入 2,200,000円 支出 3,674,660円 差引 △1,474,660円

決算の概要

令和4年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 8.6%減の 20,746,168円、総費用は、前年度比 3.2%減の 23,029,432円で、当年度純損失 2,283,264円となりました。

収益では、給水収益が 7,995,912円で総収益の 38.5%を占め、その他の収益が 12,750,256円で 61.5%の構成となりました。

費用では、原水浄水及び配水給水費が 9,677,667円で 42.0%、減価償却費及び資産減耗費が 12,226,935円で 53.1%、支払利息及び企業債取扱諸費が 12,614円、その他の費用が 1,112,216円で 4.9%の構成となりました。

資本的支出は、浄水場施設整備及び企業債償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額 1,474,660円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

令和4年度函南町東部簡易水道特別会計決算について

決算額

収益的収入及び支出

収入 129,117,786円 支出 130,595,645円 差引 △1,477,859円

資本的収入及び支出

収入 0円 支出 20,120,263円 差引 △20,120,263円

決算の概要

令和4年度の損益計算書により、総収益は、前年度比 2.7%減の 117,641,875円、総費用は、前年度比 1.9%減の 120,855,254円で、当年度純損失 3,213,379円となりました。

収益では、給水収益が 98,087,190円で総収益の 83.3%を占め、その他の収益が 19,554,685円で 16.7%の構成となりました。

費用では、原水浄水及び配水給水費が 88,391,067円で 73.2%、減価償却費が 20,925,735円で 17.3%、支払利息及び企業債取扱諸費が 18,383円、その他の費用が 11,520,069円で 9.5%の構成となりました。

資本的支出は、各ポンプ場施設整備及び企業債償還金に係るもので、資本的収入に対して不足する額 20,120,263円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。